



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場会社名 池上通信機株式会社
コード番号 6771 URL <http://www.ikegami.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清森 洋祐
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鈴木 玉生

TEL 03-5700-1113

四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,312	△22.7	△983	—	△822	—	△820	—
25年3月期第1四半期	2,990	△0.5	△1,070	—	△1,188	—	△1,191	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △685百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △1,346百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△11.30	—
25年3月期第1四半期	△16.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	26,903	12,014	44.7
25年3月期	27,898	12,700	45.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 12,014百万円 25年3月期 12,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期期末配当につきましては、業績状況の推移等を見通した上で決定することとし現段階では未定とさせていただきます。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	△0.4	△1,200	—	△1,200	—	△1,200	—	△16.53
通期	26,000	7.2	400	△10.3	500	△34.8	500	△44.7	6.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	72,857,468 株	25年3月期	72,857,468 株
26年3月期1Q	276,566 株	25年3月期	274,822 株
26年3月期1Q	72,582,065 株	25年3月期1Q	72,587,943 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

「参考」個別業績予想

平成 26 年 3 月期の個別業績予想(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 純 利 益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期 (累計)	7,000	△5.5	△1,100	—	△1,100	—	△1,100	—	△15.16
通 期	24,000	5.2	400	10.0	500	△49.4	500	△57.2	6.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8
4. (参考) 四半期財務諸表(個別)	9
(1) (要約) 四半期貸借対照表(個別)	9
(2) (要約) 四半期損益計算書(個別)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）におけるわが国の経済は、新政権の経済政策への期待感から円高の是正や株高が進み、景気は緩やかに回復しつつありますが、实体经济への波及には至っておらず、先行きが不透明な状況が続いています。一方、世界経済においては欧州財政不安が依然として払拭できず、また新興国の成長の減速懸念などから、景気回復が遅れています。

このような状況下において、当社グループの第1四半期の連結売上高は、以下のとおりとなりました。

国内販売につきましては、錠剤検査装置の新製品や医療用カメラシステムの販売が堅調に推移しましたが、当社の主力市場である放送機器市場において、大型の納入案件がなく、販売が落ち込んだことで、売上高は大きく減少しました。また、海外においては、インドや東南アジア地域への放送用機器の輸出が増加したものの、国内販売の落ち込みをカバーできず、連結売上高は前年同期と比べ、22.7%減の23億12百万円となりました（前年同期売上高29億90百万円）。

損益面につきましては、売上高の大幅な減少にも関わらず、生産効率化等の施策による売上原価率の改善効果が表れ、営業損失9億83百万円（前年同期営業損失10億70百万円）となりました。

経常損益につきましては、為替差益等の営業外収益を計上し、経常損失8億22百万円（前年同期経常損失11億88百万円）となりました。最終損益につきましては、四半期純損失8億20百万円（前年同期四半期純損失11億91百万円）となりました。

(所在地別セグメントの概況)

①日本

国内販売につきましては、錠剤検査装置の新製品や医療用カメラシステムの販売が堅調に推移しましたが、当社の主力市場である放送機器市場において、大型の納入案件がなく、販売が落ち込んだことで、売上高は大きく減少しました。

輸出面におきましては、インドや東南アジア地域への放送用機器の販売が増加し、アジア地域向けの輸出売上高は3億99百万円（前年同期売上高3億52百万円）となりました。しかし、北米地域および欧州地域への輸出が減少し、輸出売上高は減少しました。

結果、当第1四半期連結累計期間における日本の売上高は19億91百万円（前年同期売上高28億79百万円）となりました。

②北米

主たる販売エリアである北米地域におきましては、景気回復の遅れから設備投資の回復が依然として進まず、放送用HDカメラシステム等の販売が低調なまま推移し、ドルベースの売上高は減少しました。しかし対ドルで円安が大きく進行したことで、売上高は4億17百万円（前年同期売上高3億98百万円）となりました。

③ヨーロッパ

主たる販売地域である欧州各国において財政不安が依然として払拭できず、設備投資動向に少なからぬ影響を与えています。前年同期と比べ、医療用カメラシステムの販売が伸長しましたが、放送用HDカメラシステムの販売が低迷し、ユーロベースの売上高は減少しました。しかし対ユーロで円安が大きく進行したことで、売上高1億99百万円（前年同期売上高1億68百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、269億3百万円であり、前連結会計年度末に比べ9億95百万円減少しました。流動資産は受取手形及び売掛金の減少、現金及び預金、たな卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ10億80百万円減の218億21百万円となりました。固定資産は有形固定資産や投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ84百万円増の50億81百万円となりました。

負債総額は148億88百万円であり、前連結会計年度末に比べ3億9百万円減少しました。流動負債は、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ8億25百万円減の66億77百万円となりました。固定負債は、社債の増加、退職給付引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べ5億16百万円増の82億11百万円となりました。

純資産については、前連結会計年度末に比べ6億85百万円減少し、120億14百万円となりました。これは主として、当第1四半期連結累計期間の純損失計上による利益剰余金の減少等によるものです。

この結果、自己資本比率は、44.7%（前連結会計年度末45.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日に公表しました平成26年3月期の連結業績予想に比べ、当第1四半期連結累計期間の売上高は、通期予想を12ヶ月で除した進捗率と大きな乖離があります。これは、客先要求により年度末に納期を迎える受注が比較的多いことから第4四半期連結会計期間に売上が集中する傾向があるためです。

損益を含めた業績は、概ね期初の計画通りに進捗していると考えていますので、平成25年5月10日に公表しました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想は、現状において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,078	5,251
受取手形及び売掛金	9,933	5,304
商品及び製品	1,913	1,887
仕掛品	4,515	6,778
原材料及び貯蔵品	2,231	2,249
その他	259	371
貸倒引当金	△30	△20
流動資産合計	22,901	21,821
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,115	1,137
土地	1,606	1,616
その他（純額）	775	766
有形固定資産合計	3,497	3,520
無形固定資産		
	545	544
投資その他の資産		
投資有価証券	844	907
長期貸付金	1	1
その他	224	224
貸倒引当金	△117	△116
投資その他の資産合計	953	1,016
固定資産合計	4,996	5,081
資産合計	27,898	26,903

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,350	3,570
短期借入金	1,425	1,380
未払法人税等	88	16
賞与引当金	289	144
製品保証引当金	7	7
その他	1,341	1,558
流動負債合計	7,503	6,677
固定負債		
社債	—	800
長期借入金	60	30
繰延税金負債	79	101
退職給付引当金	7,208	6,943
その他	346	335
固定負債合計	7,695	8,211
負債合計	15,198	14,888
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,022	10,022
資本剰余金	1,347	1,347
利益剰余金	2,610	1,790
自己株式	△42	△42
株主資本合計	13,938	13,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	144	184
為替換算調整勘定	△1,382	△1,288
その他の包括利益累計額合計	△1,237	△1,103
純資産合計	12,700	12,014
負債純資産合計	27,898	26,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,990	2,312
売上原価	2,627	1,898
売上総利益	362	413
販売費及び一般管理費	1,433	1,396
営業損失(△)	△1,070	△983
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	21	18
為替差益	—	159
役員退職慰労引当金戻入額	3	—
貸倒引当金戻入額	9	10
その他	7	5
営業外収益合計	41	194
営業外費用		
支払利息	11	7
社債発行費	—	22
為替差損	125	—
その他	22	2
営業外費用合計	159	33
経常損失(△)	△1,188	△822
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,187	△821
法人税、住民税及び事業税	6	6
法人税等調整額	△2	△7
法人税等合計	3	△1
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,191	△820
四半期純損失(△)	△1,191	△820

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,191	△820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	40
為替換算調整勘定	△112	94
その他の包括利益合計	△155	134
四半期包括利益	△1,346	△685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,346	△685
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)および当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、情報通信機器の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(重要な後発事象)

自己株式の取得

当社は、平成25年8月5日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項およびその具体的な取得方法について下記のとおり決議しました。

- | | |
|----------------|---------------------------------------|
| (1) 取得の理由 | 経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため |
| (2) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (3) 取得する株式の総数 | 13,850,000株(上限) |
| (4) 株式の取得価額の総額 | 1,385,000,000円(上限) |
| (5) 取得する期間 | 平成25年8月6日 |
| (6) 取得方法 | 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)における買付け |

4. (参考) 四半期財務諸表(個別)

(1) (要約) 四半期貸借対照表(個別)

(単位：百万円)

	前事業年度末 (平成 25 年 3 月 31 日)	当第 1 四半期会計期間末 (平成 25 年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産	21,030	20,142
固定資産	6,947	6,911
資産合計	27,978	27,054
負債の部		
流動負債	7,114	6,244
固定負債	7,638	8,156
負債合計	14,752	14,401
純資産の部		
株主資本	13,080	12,468
評価・換算差額等	144	184
純資産合計	13,225	12,653
負債純資産合計	27,978	27,054

(2) (要約) 四半期損益計算書(個別)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 6 月 30 日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 6 月 30 日)
売上高	2,792	1,934
売上原価	2,530	1,654
売上総利益	262	279
販売費及び一般管理費	1,209	1,121
営業損失(△)	△947	△842
営業外収益	63	273
営業外費用	162	38
経常損失(△)	△1,046	△607
特別利益	0	0
特別損失	0	0
税引前四半期純損失(△)	△1,045	△606
法人税等	5	5
四半期純損失(△)	△1,051	△611

(注) 上記の四半期個別財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成 19 年内閣府令第 63 号)に基づいて作成した四半期財務諸表の一部科目を集約して表示しており、法定開示におけるレビュー対象ではありません。